

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 ブルーライン

②事業者情報

名称: 所沢市キャンパス	種別: 生活介護事業
代表者氏名: 若林 稔	定員(利用人数): 50 (57) 名
〒 359-0001	TEL 04-2943-6110
所在地: 埼玉県所沢市下富653-5	

③総評

◇特に評価の高い点

(1) 【アセスメント・個別支援計画】

アセスメントは専用の様式が準備されており、適切に実施されています。利用者の課題に付き関係部門のアドバイスを必要とする場合、関係者(医師・看護師・相談支援所・施設職員等)が集まってアセスメント段階でも個別支援計画策定段階でも協議して課題を解決する様、対応しています。個別支援計画は年2回、評価・見直しを行っています。支援困難な利用者への配慮としては、個別支援計画で1:1の支援方法を策定し対応しています。

(2) 【利用者とのコミュニケーション】

日々の支援に於いて意思を汲み取る支援方法や自己決定の支援方法など工夫しています。日中活動の種類を増やし利用者が主体的に選択出来る様、配慮しています。生活に関わるルール等は、利用者の自治会で話し合う機会を設けています。職員とのコミュニケーションから合理的配慮が出来る様、取組んでいます。話の出来る利用者については、時間を掛けながら理解を促す様にしたり情報提供を行ったりしています。幾つかの選択肢を提示して選んで貰ったり、カードやタブレット端末等を使用しながら工夫して行っています。相談の内容については、職員間で共有し必要な場合は個別支援計画にも記録しています。

(3) 【利用者の健康管理】

健康診断・歯科検診・内科検診を定期的実施しており、入浴や排せつの場面でも健康状態の把握に努めています。バイタルチェック・体温測定や体重の状態を観ながらダイエット食を薦めたりしています。利用者の体調変化等における迅速な対応の為の手順、医師・医療機関との連携・対応を適切に行っています。職員研修や職員の個別指導等を定期的に行っています。

◇特にコメントを要する点

(1) 【感染症対応】

施設長を責任者として感染症の対応体制は整えられていますが、予防と発生時等の対応マニュアルは作成されておらず、感染症の予防や安全確保に関する勉強会や研修等も開催されていません。所沢市で最初にコロナのクラスターが発生した施設である事を考えると、対応体制を整える事が喫緊の課題と思われます。

(2) 【事業計画】

事業計画は職員参画の元で策定された内容ではなく、毎年、文言もほぼ同一の内容となっています。又、定められた時期・手順に従い進捗状況の確認や評価・見直しは行われていません。年度の事業計画の内容については家族会で説明がされていますが、資料の配布や所内掲示はされていません。やはり利用者や家族には分かり易い資料により配布の上、説明し一緒により良い施設にして行くと言う意識形成がされる事が望ましいと感じます。

(3) 【職員に期待すること】

期待する職員像は内部文書等で明らかにされていません。職員に求められる専門技術や専門資格も明示されていません。教育・研修計画も策定されておらず、従い研修内容やカリキュラムの評価・見直しは行われていません。人事考課システムは策定中で、目標管理や評価面談の内容についても検討中です。職員に何を期待しどうなっていて欲しいのか、コミュニケーション不足を感じます。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価結果を受けて、今後、改善ポイントとして取り組みたい部分は、PCDAサイクルを循環させ、計画の進捗状況の確認、評価・見直しを組織として実践し、それらを記録として残して活用していく点。また、各分野でマニュアルが整備されていないので、マニュアル整備に取り組んでいく点です。第三者評価を行うことで、改めて具体的課題が分かりました。大変、有意義な評価でありました。

**⑤各評価項目にかかる第三者評価結果
別紙**